

### 子どもの意見聴取・反映の取組「もとまち児童館遠足」

#### 取組の背景・目的

国分寺市の児童館で行われている児童館利用者の意見を聞き取る年2回の利用者協議会、年1回のじどうかんアンケートの他に、5年前からもとまち児童館独自の聞き取り方として児童館の利用者がいつでも自由に書き込める「じどうかんノート」を作成、設置。コンセプトは「出来る、出来ないではなくまず書いてみる」。当初は落書きばかりだったがまず慣れ親しんでもらうという事で自由に書いてもらったところ、職員が子どもの考えや好みを理解する良い材料となっている(今現在では5冊目)。ノートは職員が添削し、途中意見も書いているため子どもは自分の意見に対してどのように児童館が取り組んでいるのか分かるようになっている。

その流れから昨年度、小学生以上対象の遠足の行先を子ども達が自由に決める事が出来たら、参加者も自分たちの意見で決めたところなので楽しく参加できるのではないかという思いで遠足投票をスタートした。



じどうかんノート：いろいろ書いてます(赤字は職員による添削)

#### 取組の概要

国分寺市から指定管理者として児童館の運営を委託されている労働者協同組合ワークスコープが国分寺市の小学生以上対象の遠足行事として実施。

まず遠足の実施月を3月と定め、逆算して

10月～11月中旬 遠足の場所を自由に書いてもらう



11月下旬～12月 意見の多かった上位3～4ヶ所を利用者に投票してもらう



12月最終日～2月 遠足の行先決定、実地踏査および準備、申込みを行う



3月 遠足実施

という流れで行った。

## 工夫点・留意点

まず自由に行きたいところを書いてもらったところ外国や遊園地などの意見が多く、どうしていいかないか(遊園地はかなり参加費がかかる事と班行動になるため、乗りたい物が制限されるなど)館内に掲示した。

また行先も動物園、水族館といったような漠然としたものが多く、投票で水族館に決まってからは場所の選定に苦労し、その結果入場料の問題などから無料の葛西臨海公園に決定した。



自由に書いてもらい候補地を決め、投票へ！

遠足を楽しむ子どもたち

## 取組の効果

場所が普段学校などの遠足で行かない事もあり、申込み日初日で定員に達してしまうほど反響が大きかった。また自分で選んだ場所という事もあったか遠足に参加した子どもたちは満足したようで保護者にも好評だった。

## 課題・今後の展開

自分たちで自由に行先を選ぶ事はとても良い試みだったと思えるが、子どもたちは自分の知らない場所を書かないため、新しい場所が出てこないというデメリットもあった(今年度の遠足の行先も水族館となった)。

来年度は自由記述の他に職員が調べた場所も候補地の1つとして子どもたちの前でプレゼンで伝えていきたいと思っている。